



7/13 「大きくなって」 願い込め海へ



垣生海岸で、垣生小学校の6年生約40人がトラフグの稚魚2,500匹を放流しました。

子どもたちに漁業への関心をもってもらうと、市漁業振興対策協議会が毎年実施。放流された稚魚は約3年後、産卵のために瀬戸内海へ戻ってきます。約7cmの稚魚は5年をかけて約50cmまで成長。成長したトラフグは郷土料理「ぶぐざく」の食材として重宝されます。

児童たちは「トラフグのお腹が柔らかくて、めっちゃ可愛かった」などにとっこり。大きくなってほしいとの願いを込め、稚魚の入ったバケツを傾けていました。

7/29 四国中学校総体出場 壮行式で激励



第59回四国中学校総合体育大会(7/31～8/8)に出場する選手の壮行式が、市民文化センターで行われました。

ハンドボール、軟式野球、バスケットボール、バドミントンの4種目に5団体(合同チームを含む)が出場。個人の部では、陸上、水泳、ソフトテニス、卓球、バドミントン、柔道、剣道の7種目に26人が出場します。

選手一人一人が全員の前で、大会への決意を力強く表明。それぞれが持つ思いや抱負を交わし合い、士気を高めていました。

7/29 書庫見学と科学実験で夏休み満喫



子どもたちに図書館やものづくりへの興味を持ってもらうと、別子銅山記念図書館で「夏休み子ども図書館探検隊! & おもしろ科学実験～二酸化炭素のひみつ～」があり、児童約30人が実験や館内見学を楽しみました。

児童は普段は立ち入れない書庫などを見学した後、さまざまな実験や入浴剤作りを通じ、二酸化炭素の性質について学びました。

金子小6年の山上詩織さんは「入浴剤や炭酸飲料など、身の回りにある物にも二酸化炭素が使われているんだと勉強になった」と声を弾ませていました。

7月8月 全国大会に出場します



第29回ヤングリーグ選手権大会に出場
新居浜ヤングスワローズ選手団



第18回全日本一般男子(B級)大会に出場
球道倶楽部選手団